

第1学年 国語（書写）

第1学年の学習到達目標

- (1) 姿勢や用具の持ち方を正しくして丁寧に書くことができる。
 (2) 点画の長短、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くことができる。

第1学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	もじのせかいにでかけよう ・じをかくしせい ・はじめのれんしゅう	正しい姿勢・鉛筆の持ち方でかく。 いろいろな線をかき、運筆に慣れる。	正しい姿勢・鉛筆の持ち方 丁寧に書く態度 運筆に慣れること
	ひみつをみつけよう ・ひらがなのれんしゅう	平仮名の「止め」と「払い」の書き方を理解し、正しく書く。 筆順を理解し、筆順に従って書く。 文字の外形を理解し、外形に注意して書く。	平仮名の筆使い...「止め」「払い」 筆順の大原則...上から書く、左から書く 字形の整え方...外形（真四角、縦長、横長）
	もじのはなし どちらからかくのかな？	横書きの書き方を理解する。	横書きは、左から右に書くこと
	たんけんしよう ・「まがり」と「おれ・おりかえし」	平仮名の「曲がり」と「折れ・折り返し」の書き方を理解し、正しく書く。 平仮名の「はね」の書き方を理解し、「はね」に注意して書く。 濁点と半濁点のある字の書き方を理解する。	仮名の筆使い...「曲がり」「折れ・折り返し」 平仮名の筆使い...「はね」 濁点と半濁点の書く位置や筆順
	・「むすび」	平仮名の「結び」の書き方を理解し、「結び」の形に注意して書く。 促音の字の書き方を理解する。 句読点とかぎ括弧の書き方を理解する。	平仮名の筆使い...「結び」（横長、縦長） 促音の字の大きさや書く位置 句読点とかぎ括弧の書く位置や筆順
	ちゃれんじ！ なまえをかこう	フェルトペンの持ち方を理解する。 既習事項を生かして丁寧に書く。	フェルトペンの持ち方 既習事項を生かして、名前を丁寧に書くこと
	たからばこ ・ひらがなのひょう	正しい姿勢・鉛筆の持ち方で書く。 平仮名五十音を、筆順に従って丁寧に書く。 拗音の字の書き方を理解する。	正しい姿勢・鉛筆の持ち方 平仮名五十音 拗音の字の大きさや書く位置
後期	たんけんしよう ・「とめ」「はらい」「はね」 ・「おれ」と「まがり」	漢字の「止め」「払い」「はね」の書き方を理解し、正しく書く。	筆使い...「止め」「払い」「はね」
		漢字の「折れ」と「曲がり」の書き方を理解し、正しく書く。 漢字の「反り」の書き方を理解し、「反り」に注意して書く。 片仮名の「折れ」と「曲がり」に注意して書く。	筆使い...「折れ」「曲がり」 筆使い...「反り」
	ひみつを見つけよう ・文字のかたち	漢字の外形を理解し、外形を考えて書く。 片仮名の外形に注意して書く。 長音符号の書き方を理解する。	字形の整え方...外形（真四角、縦長、横長）
	ひつじゅん	筆順の大原則を理解し、筆順に従って書く。 間違えやすい筆順に注意して書く。	筆順の大原則...上から書く、左から書くこと

後期	チャレンジ! かきぞめをしよう	正しいフェルトペンの持ち方で書く。 既習事項を生かして書き初めをする。 行末の句読点の書き方を理解する。	フェルトペンの持ち方 既習事項を生かした書き初め 行末の句読点の書き方
	ひみつを見つけよう ・かくのながさとほうこう	正しい姿勢・鉛筆の持ち方で書く。 画の長さの違いを理解し、画の長さに注意して書く。 画の方向の違いを理解し、画の方向に注意して書く。	正しい姿勢・鉛筆の持ち方 字形の整え方...画の長さ 字形の整え方...画の方向
	たからばこ ・かん字のかきかた	既習の漢字の筆使いをまとめ、正しく書く。	筆使い...「止め」「払い」「はね」「折れ」「曲がり」「反り」
	チャレンジ! おはなしやうたをかこう	既習事項を生かして丁寧に書く。	二つの教材(好きなお話と、歌)から自分の課題を選択し、既習事項を生かして丁寧に書くこと

評価の観点・方法

(1)評価の観点 【言語についての知識・理解・技能】 文字の形、筆順、点画の接し方、 交わり方などを理解して文字を正しく書く。	(2)評価の方法 1年生の文字指導が、これからの学習の基礎となります。文字を正しく丁寧に書けるようになるには、まず、意欲を持って取り組むことが大切です。(行動観察) 自分のよさを生かしたり、互いのよさを認め合ったりしながら、学習を深めることができるように工夫します。(自己評価・相互評価) 「止め」「はらい」「はね」字形など技能的な評価は、作品で行います。(ノート・ワークシート・プリントなど)
--	--

特色ある学習方法

<p>子どもたちが主体的に学習が進められるように、意欲を持たせるための工夫をします。</p> <p>(1) ワークシート・プリントの工夫 子供たちの興味のある絵やことばを入れ、楽しみながら学習できるように工夫します。</p> <p>(2) 評価の工夫 手本と自分の作品を比べたり、作品を掲示し友達の作品と比べたりしながら、自分の作品を見つめなおし、より向上するよう指導します。</p> <p>(3) 日常生活に生かす 全教科にわたり、書く場面では、丁寧に正しく文字が書けるよう指導します。</p>
--

使用教材等

<p>教科書 「新しい書写 1年」(東京書籍)</p> <p>手作りひらがなプリント、漢字ドリルをつかいます。</p> <p>必要に応じて練習プリントを使います。</p> <p>鉛筆は、濃いもの(B・2Bなど)を使います。</p> <p>名前ペンを使うこともありますので、筆箱に常時入れておいてください。</p>
--

留意事項

<p>(1) ひらがな・カタカナ・漢字の練習などを家庭学習に出します。1年生の始めから、丁寧に書く習慣を身につけさせたいものです。習慣がつくまで、少し目をかけてあげてください。丁寧に書けていた時は、しっかりほめてあげてください。</p> <p>(2) 鉛筆は毎日点検し、削ってくるよう声かけをお願いします。</p>
